

スタートアップ・中小企業 支援策のご紹介

更新日：2026年2月

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
スタートアップ支援部

ダウンロードは
こちらから





国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

New Energy and Industrial Technology Development Organization

概要

所管	経済産業省
職員数	1,565名（2025年4月1日現在）
予算	約1,464億円（2025年度当初予算） その他、基金事業を実施（約10.4兆円）

Mission

- ✓ エネルギー・地球環境問題の解決
- ✓ 産業技術力の強化

第5期中長期計画に基づく3つの取り組み

スタートアップ育成5か年計画達成に向け、技術シーズや事業構想を有する起業家候補の発掘・育成支援
ディープテック・スタートアップの実用化開発、海外技術実証、量産化実証の支援等を行っております。

01

研究開発マネジメントを通じた
イノベーション創出

02

研究開発型スタートアップの
育成

03

技術インテリジェンスの
強化・蓄積

シーズ発掘から事業化まで、フェーズ・領域に応じて網羅的・シームレスな事業支援を行っています。

技術開発に対する補助金支援

スタートアップ支援

P.04-26

起業前の個人

スタートアップ

中小企業

大学・研究機関

長期の研究開発と大規模な資金を要する
ディープテック・スタートアップの研究開発
へ支援を行い、イノベーションを促進します。



支援対象分野

経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等）に係る
研究開発を行うもの。ただし、原子力技術に係るものは除く。また、一部事業では、医薬品として医薬品医療機器総合機構（PMDA）の審査・承認を受けることを前提としたものや、
再生医療等製品に係る開発は除く。

事業会社連携、人材育成等

技術シーズ発掘・ 育成（产学連携）支援

P.28-35

民間企業

大学・
研究機関

新産業創出に貢献する革新的な技術シーズの
発掘・育成を行う产学連携体制を支援します。



エコシステム形成

P.36-48

スタートアップ

事業会社

VC
支援者等

研究開発の成果を最大限に活用するため、
支援人材の育成や事業会社との連携支援を行っています。



	コース名	ページ
技術開発に対する補助金支援	ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業／NEP (NEDO Entrepreneurs Program) 開拓コース	P.10
	ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業／NEP (NEDO Entrepreneurs Program) 躍進コース	P.12
	ディープテック・スタートアップ支援事業／DTSU (Deep-Tech Startups Support Program) GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業／GX	P.14
	ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業／UPP事業 (Unicorn Promotion Program) GX分野のディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業／GX_UPP事業	P.16
	ディープテック・スタートアップ支援基金／国際共同研究開発	P.18
	SBIR (Small / Startup Business Innovation Research) 推進プログラム	P.20
	脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム	P.22
	新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業	P.24
	大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業／PoP (Proof of Product) フェーズ	P.26
	官民による若手研究者発掘支援事業	P.30
技術・育成支援	NEDO先導研究プログラム	P.32
	NEDO懸賞金活用型プログラム／NEDO Challenge	P.34
	研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座／NEDO SSA (NEDO Startup Supporters Academy)	P.38
事業会社連携、人材育成等	大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業／MPM (Management Personnel Matching program)	P.40
	大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業【実証事業】	P.42
	事業会社等が保有する革新的な技術を活用したカーブアウトによるディープテック・スタートアップ創出等促進事業【実証事業】	P.43
	海外研究者招へい事業／STeP JAPAN (Science and Technology Fellowship Program for JAPAN)	P.44
	オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会／JOIC (Japan Open Innovation Council)	P.45
	NEDOデスク	P.46
	K-NIC (Kawasaki-NEDO Innovation Center)	P.47
	Plus (Platform for unified support for startups)	P.48

シーズ発掘から事業化まで、フェーズ・領域に応じて網羅的・シームレスな事業支援を行っています。

技術開発に対する補助金支援

スタートアップ支援

P.04-26

起業前の個人
スタートアップ
中小企業
大学・研究機関

長期の研究開発と大規模な資金を要する
ディープテック・スタートアップの研究開発
へ支援を行い、イノベーションを促進します。



支援対象分野

経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、医療機器、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等）に係る
研究開発を行うもの。ただし、原子力技術に係るものは除く。また、一部事業では、医薬品として医薬品医療機器総合機構（PMDA）の審査・承認を受けることを前提としたものや、
再生医療等製品に係る開発は除く。

事業会社連携、人材育成等

エコシステム形成

P.36-48

スタートアップ
事業会社
VC
支援者等

研究開発の成果を最大限に活用するため、
支援人材の育成や事業会社との連携支援を行っています。



技術シーズ発掘・ 育成（产学研連携）支援

P.28-35

民間企業
大学・
研究機関

新産業創出に貢献する革新的な技術シーズの
発掘・育成を行う产学研連携体制を支援します。



技術開発に対する補助金支援：スタートアップ支援事業

成長ステージに合わせた支援事業ラインアップ

		Pre-Seed	Seed	Early	Middle		
対象内容	製品・サービスの開発段階	技術シーズ発掘	初期構想の発想・検討	試作品の開発	商用化の実現	市場開拓	
	ビジネス検討段階	・基礎研究 ・技術シーズ発掘 ・起業マインドの育成	・技術シーズの活用方法の検討 ・アイデア発案と初期的な検証 ・法人設立準備	・試作品の開発 ・実証研究	・試作品の改善 ・量産化開発 ・現場での実証活動 ・初期見込み顧客の獲得	- ・市場拡大に向けたマジョリティ層の開拓	
事業	NEP		開拓	躍進		ディープテック分野の技術シーズを活用したビジネスモデルを持つ起業家候補人材の支援。 P.10	
	DTSU / GX			STS	PCA	DMP	長期・大規模な開発を要するディープテック・スタートアップの実用化開発と量産化を支援。 P.14
	UPP / GX_UPP					一定の研究開発を終えたスタートアップに対して、商用の設備投資やソフトウェア投資等事業開発活動を支援。 P.16	
	国際共同研究開発					海外市場への展開と技術の早期普及を目的に、海外事業者との国際共同研究開発を目指すディープテック・スタートアップを支援。 P.18	
	SBIR			フェーズ1	フェーズ2		政府が定めた研究開発課題に取り組む研究開発型スタートアップ等による研究開発と社会実装の推進を支援。 P.20
	脱炭素省エネ	FS	インキュベーション	実用化開発	実証開発		重要技術の開発支援を通じ、省エネルギー型社会の構築と産業競争力強化を目指すプログラム。(設立年数制限なし) P.22
	新エネルギー等のシーズ発掘・事業化		フェーズA フェーズα	フェーズB フェーズβ	フェーズC	未来型	再生可能エネルギー普及に向け、事業化段階に応じた制度・フェーズで中小・スタートアップ企業等を支援。(設立年数制限なし) P.24
	PoPフェーズ						ディープテック・スタートアップと、その製品等の調達・購買を希望する大企業等を対象に、製品カスタマイズ・導入検証を支援。 P.26

技術開発に対する補助金支援：スタートアップ支援事業

NEDOのスタートアップ等支援の全体像

	NEP (NEDO Entrepreneurs Program)		国際共同研究	SBIR (Small / Startup Business Innovation Research)	
	開拓コース	躍進コース	一	フェーズ1	フェーズ2
補助額	300万円 迄	3,000万円 以内	1億円 以内	一気通貫型 2,000万円 以内	一気通貫型 1億円 以内
				連結型 1,500万円 以内	連結型(ステージゲート審査のみ) 5,000万円 以内
期間	12か月 程度	12か月 以内	原則 2-3年	原則 1年 以内	原則 2年 以内
補助率	1/1	1/1 or 3/4	2/3 以内	1/1	2/3
対象者	起業前の個人	起業後の法人	日本国内に登記される未上場の中小企業		
目安段階	Pre-Seed		Seed		
支援概要 &特徴	・起業家研修 ・アイデアの実現可能性調査 ・NEP事業の経理支援	・ビジネスモデル プラッシュアップ ・NEP事業の経理支援	・対象国・事業者との 共同研究を支援 ・NEDOは対象国の 公的支援機関と連携し、 共同研究開発をサポート	・政府機関があらかじめ 設定する課題の 解決に資する技術について PoC及びF/Sの実施 ・内閣府を司令塔に 公共調達や市場での展開を 促進する事業	・フェーズ1の検証結果を 踏まえた、実用化研究開発 ・一気通貫型はフェーズ2か らの応募も可能 ・内閣府を司令塔に 公共調達や市場での展開を 促進する事業
	・伴走支援者、カタライザによるサポート ・潜在顧客との面談アレンジ、外部人材の紹介など				

	DTSU (Deep-Tech Startups Support Program)			UPP (Unicorn Promotion Program)	
	STSフェーズ Seed-stage Technology-based Startups	PCAフェーズ Product Commercialization Alliance	DMPフェーズ Demonstration development for Mass Production	事業開発	
補助額	最大 5億円	最大 10億円	最大 25億円	UPP 最大 30億円 以内	GX_UPP 最大 50億円 以内
	SG審査通過で最長 6年、上限30億円				
期間	各フェーズ 1.5-2年 程度 (同一フェーズ内で最長4年)			3年 以内	4年 以内
補助率	2/3 以内	2/3 以内	2/3 or 1/2 以内	1/2 or 1/3 以内	1/2 以内
対象者	日本国内に登記される未上場の中小企業（みなし大企業のぞく、設立から一定以内要件等あり）				
目安段階	Seed → Early → Middle ~				
支援概要 & 特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・要素技術の研究開発 ・試作品の開発 ・事業化可能性調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・初期の生産技術開発 ・主要市場獲得に向けた可能性調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・商用化に向けた量産技術確立、実証 ・サンプル出荷 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前のRFI等によって設定された領域での支援 ・商用の量産プラントの建設、他社との事業連携、量産技術の改良 	

技術開発に対する補助金支援：スタートアップ支援事業

【参考】NEP/DTSU事業の対象フェーズ判定チャート



事業開発の一般的なプロセスに基づいた支援対象ステージ

特定の技術シーズを活用したビジネスアイデアについて考え中であり、ビジネスモデルの構築には至っていない。

YES

NEP
開拓

起業に向けて、伴走支援者からの助言を受けつつ、技術シーズのビジネス活用の可能性を検討する。

↓ Done

技術シーズを活用した一定のビジネスモデルを持っているが、具体的な製品・サービスの設計や市場や顧客ニーズの把握がまだ十分でなく、ビジネスモデルのブラッシュアップが必要である。

YES

NEP
躍進

研修の受講や専門家の助言を受けつつ、ビジネスモデルのブラッシュアップを行う。並行して、試作品の設計・製作を進める。
(応募時に法人が設立されている必要はないが交付申請には法人設立が必須)
※企業からのカーブアウト案件も対象

↓ Done

技術シーズを活用したビジネスについて一定の構想が描けており、製品・サービスの初期的な試作品を開発して検証しつつ、想定顧客とのコミュニケーションを始めつつある、あるいは始めている。

YES

DTSU
STS GX
STS

初期的な試作品の開発を進めると共に、特定の想定顧客に対してビジネスが成り立つことの仮説検証を行う。
(所定の時点でVC等、CVCが株主に含まれることが必須。)

↓ Done

技術シーズを活用したビジネスについて、製品・サービスに関する想定顧客とのコミュニケーションを通じてブラッシュアップを図りつつ、主要市場の開拓などビジネスのスケール化について検討している。

YES

DTSU
PCA GX
PCA

想定顧客とのコミュニケーションによって得られるフィードバック等を基に、試作品の商品化に向けたブラッシュアップ開発を行うと共に、初期市場とその先の主要市場の開拓に向けた調査やビジネス検証を行う。
(所定の時点でVC等、CVCが株主に含まれることが必須。)

↓ Done

技術シーズを活用したビジネスについて、製品・サービスを基にした特定の顧客とのビジネスが成立する見込みが立っており、その実現のために量産技術・量産体制等の構築や大規模な実証を行う段階にきている。

YES

DTSU
DMP GX
DMP

主要市場における幅広い顧客を対象とした、量産化に係る検証や大規模な実証を行うことで、商用化に向けたビジネス検証を行う。
(所定の時点でVC等、CVCが株主に含まれることが必須。)





ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業

NEP (NEDO Entrepreneurs Program) / 開拓コース



ディープテック分野での技術シーズを活用した
アイデアの実現可能性調査を行う起業家候補人材（FR）を支援します。

詳細ページ



コース	補助金額	対象者	事業期間
開拓コース 	月額 25万円(税込) <small>上限 300万円迄</small> 調査活動において自らが必要と判断した経費 (研究開発費、旅費・交通費、資料購入費等)	起業前の個人 (チームを組んでいる方でも可)	12か月程度

支援のポイント

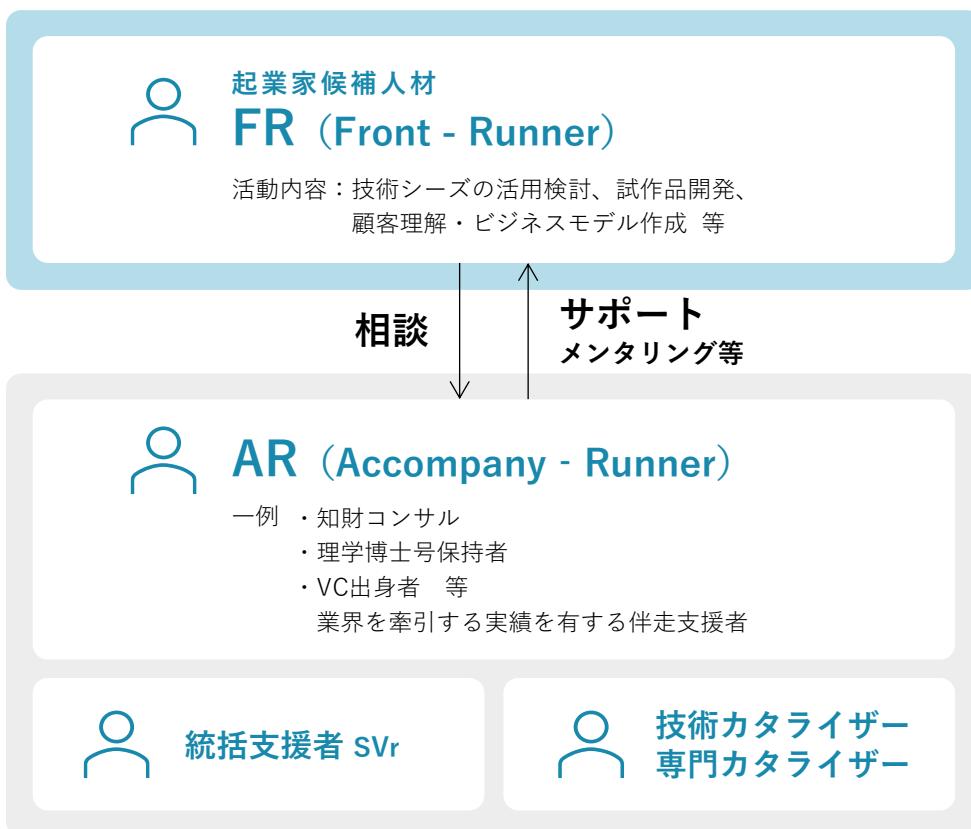
自由度の高い活動費の支給

経験豊富な統括支援者SVrと
伴走支援者ARによる手厚い伴走支援

若手の方を歓迎
(40歳未満の方優遇)

活動イメージ

- ✓ 起業家候補人材FRはNEDOへ毎月活動報告を行うと共に、月額25万円を使用して活動。
- ✓ 技術シーズを活用したビジネスアイデアの実現可能性調査を、経験豊富な伴走支援者（AR）のサポートを受けながら実施。



採択までの流れ

2月～3月上旬頃 3月中旬～下旬頃 3月下旬頃



応募について

応募書類

- ・プロフィールシート
- ・「技術の活用アイデア」等説明資料
 - └ 応募者の情報、活用する技術シーズ
 - └ 現時点での技術の活用アイデア等
- ・承諾書（該当者のみ）

審査基準

- ・事業の趣旨に合致した人物か
 - ・育成対象とすべき人物か等
- ※ 特に人物面を重視
- ※ 応募時点で満40歳未満の者等は優遇措置有り

ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業NEP (NEDO Entrepreneurs Program) / 跳進コース

ディープテック分野で“具体的な技術シーズ”を活用した
ビジネスモデルを有する起業家候補人材を支援します。

詳細ページ



コース	補助対象費用 ※補助対象費用 × 補助率 = 補助金額	対象者		事業期間
		応募時	交付決定先	
躍進500  躍進3000 <small>※ 跳進3000 : VC等からの出資関心確認書の提出が必要</small>	500 : 500万円未満 補助率 1/1	個人・チーム・法人	法人	12か月以内
	3000 : 3,000万円以内 補助率 1/1			
躍進カーブアウトA  躍進カーブアウトB <small>※ カーブアウトA・B : 「支援対象証明書」の提出が必要</small>	A : 500万円未満 補助率 3/4	個人・チーム	カーブアウトを想定する個人・チーム	12か月以内
	B : 3,000万円以内 補助率 3/4	個人・チーム・法人	カーブアウト後の法人	

活動イメージ

- ✓ 事業者は製品・サービスの試作品開発や、顧客候補のフィードバック等によるビジネスモデルのブラッシュアップといった事業化促進の活動を事業カタライザーのサポートを受けながら実施。

採択までの流れ

5~6月上旬頃

書面審査

6月～7月

面談審査
躍進3000・
躍進カーブBのみ

7月上旬～8月中旬

採択決定

事業者

実施内容：ビジネスモデルのブラッシュアップ、試作品開発、実証研究 等

相談

サポート
メンタリング等

事業カタライザー

一例
・弁理士
・理学博士号保持者
・VC出身者、キャピタリスト 等
業界を牽引する実績を有する伴走支援者



統括支援者 SVr



技術カタライザー
専門カタライザー

応募について

応募書類

- 提案書
- 技術シーズの原理確認や市場でのニーズ確認（PoC）の内容や計画・体制、企業化計画、他
- コースにより
「出資関心確認書」や「支援対象証明書」

審査基準

- 本事業の趣旨との整合
- 人物評価
- 技術評価
- 事業性評価
- 資金調達に関する評価

ディープテック・スタートアップ支援事業／DTSU

GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業／GX

GX分野も含め、“技術の事業化までに長期間を要する
ディープテック・スタートアップ”的実用化研究開発・量産化実証を支援します。

詳細ページ



フェーズ	補助金額	対象者	事業期間
STSフェーズ Seed-stage Technology-based Startups 実用化研究開発(前期)	3億円 or 5億円以内※ 補助率 2/3以内	要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発の方向性を決めるための事業化可能性調査等を行うスタートアップ	1.5～2年程度 (次の資金調達までの期間が目安)
PCAフェーズ Product Commercialization Alliance 実用化研究開発(後期)	5億円 or 10億円以内※ 補助率 2/3以内	試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事業化可能性調査等を行うスタートアップ	ただし、同一フェーズ内で最長4年
DMPフェーズ Demonstration development for Mass Production 量産化実証	DTSU事業：25億円以内 原則1/2以内 (例外有) GX事業：25億円以内 補助率 2/3以内	量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るために必要な量産化実証等を行うスタートアップ	

※ 事業化連携に係る連携先の関心表明書や海外技術実証に係る計画書を提出する場合、上限額の引き上げが可能。

主な要件

詳細	DTSU STS	DTSU PCA	DTSU DMP	GX STS	GX PCA	GX DMP	
中小企業基本法等に定める中小企業 みなし大企業等を除く	●	●	●	●	●	●	
設立からX年以内 例外有	10年	10年	15年	10年	10年	15年	
VC・CVC等が株主構成に加わっていること 採択決定日以降のNEDOが指定する日まで	●	●	●	●	●	●	
GXに係る取り組み申告書の提出が必要	-	-	-	●	●	●	
資金調達要件の有無 所定の期間内に1社以上の以下の法人から補助対象費用の1/3以上の出資・融資が得られること <対象法人> STS : VC等、CVC、事業会社からの出資（VC等またはCVC必須） PCA : VC等、CVC、事業会社からの出資、金融機関からの融資（融資のみはNG）	●	●		原則必須ではないが例外有			
連携先との間で取り交わした 「量産化実証、共同研究、調達、販路開拓等に関する覚書等」の提出	-	-	●	-	-	●	

支援イメージ



ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業／UPP事業（Unicorn Promotion Program）

GX分野のディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業／GX_UPP事業

一定の研究開発を終えたスタートアップに対して、
商用の設備投資やソフトウェア投資等事業開発活動を支援します。

詳細ページ



事業	補助金額	対象領域	事業期間
 UPP事業	30億円以内 補助率 原則1/3以内、例外1/2以内	公募ごとに領域を設定 ※ 過去の領域の事例 ○医療機器・ヘルスケア ○スマート農業・バイオマス ○AIロボット	3年以内
 GX_UPP事業	50億円以内 補助率 1/2以内	公募ごとに領域を設定 ※ 過去の領域の事例 ○蓄電池 ○資源循環 ○自動化技術	4年以内

公募スケジュール

済

第1回

2025年3月～4月

済

第2回

2025年11月～12月

第3回

2026年 春

主な要件

詳細

	UPP	GX_UPP
中小企業基本法等に定める中小企業 みなし大企業等を除く	●	●
設立から20年以内	●	●
事業の総額（補助事業者負担分を含む）が10億円以上の提案	●	●
売上高研究開発費割合が、5%以上の企業	●	●
採択決定日以降のNEDOが指定する日（別途資料参照）までに VC等またはCVC、これらに類する者が株主構成に加わっていること	●	●
補助事業の実施を通じて実施する予定のCO2排出削減のための取組が記載された 「GXに係る取組申告書」を提出すること	-	●

ディープテック・スタートアップ支援基金／国際共同研究開発

詳細ページ

海外市場への展開と早期の技術普及を目的とし、海外事業者との共同研究開発を希望する
ディープテック・スタートアップに対し、当該国際共同研究開発を支援します。



技術シーズの開発研究

初期構想の発想・検討

試作品の開発

商用化の実現

市場開拓

対象国	補助金額	対象者	事業期間
2025年度対象国			
<p>◆欧州 フランス、ルクセンブルク、 ベルギー（フランダース地域）、 デンマーク、ノルウェー、 スペイン、スウェーデン、 オーストリア、リトアニア、 英国</p> <p>◆アジア 韓国、シンガポール</p> <p>◆その他エリア カナダ、南アフリカ共和国、 イスラエル</p>	<p>1億円以内/件</p> <p>補助率 2/3以内</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本に登記されている未上場の中小企業 主要な研究開発拠点を日本国内に有する 提案者の主任研究者は日本の居住者 相手国側企業等と国際共同研究開発 プロジェクトを実施する見込みであって、 当該企業等と共同研究契約を締結できる 	<p>原則 2～3年</p>

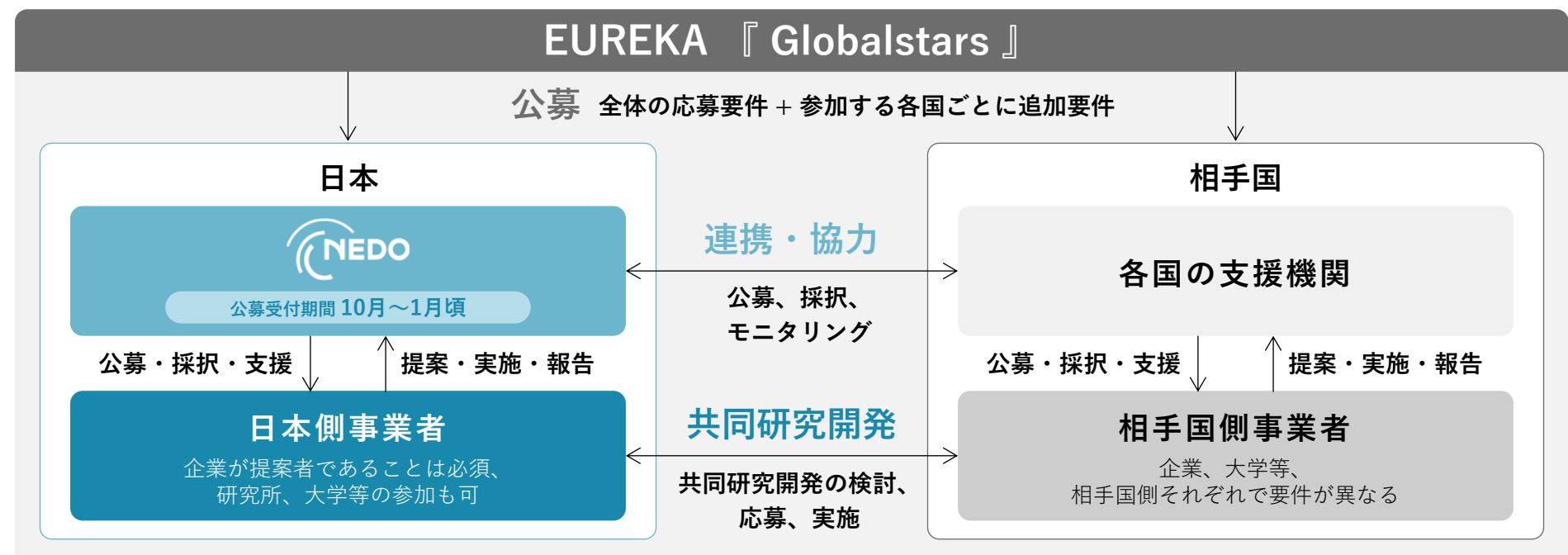


事業スキーム

- ✓ 欧州を中心とする各国の研究開発・イノベーション支援機関等の国際的なネットワークであるEUREKAのGlobalstarsスキームを活用した多国間共同公募方式。

主な要件

- ✓ 未上場の中小企業であり、主要な研究開発拠点を日本国内に有すること。
- ✓ 提案者の主任研究者は日本の居住者であること。
- ✓ 相手国側事業者と、知的財産権等の取り扱いに関する共同研究契約を締結できること。



SBIR (Small / Startup Business Innovation Research) 推進プログラム



革新的技術を持つスタートアップ・中小企業に対し、PoCやFSの実施を支援します。
国のニーズに合致した技術として磨き上げ、公共調達や市場での展開を促進します。

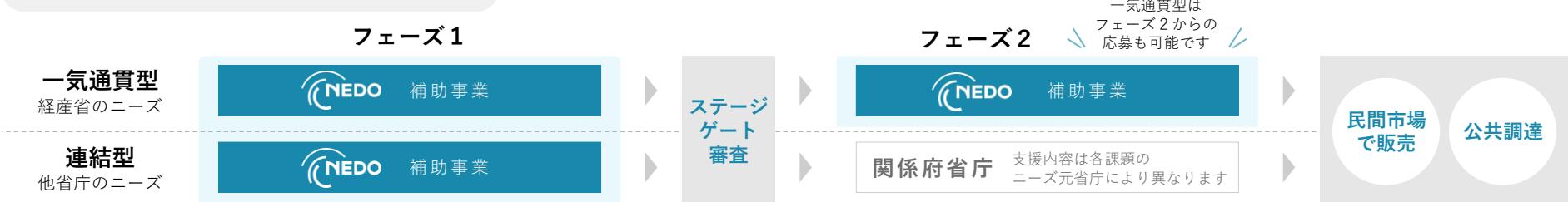
詳細ページ



フェーズ	補助金額	対象者	事業期間
 フェーズ1 概念実証PoC/ 実現可能性調査(FS)支援	一気通貫型：2,000万円以内 <small>補助率 1/1</small>	研究開発課題に対して、 解決に資する技術シーズを有している スタートアップ等	原則 1年以内
	連結型：1,500万円以内 <small>補助率 1/1</small>		
 フェーズ2 PoC/FSを前提とした 実用化開発支援	一気通貫型：1億円以内 <small>補助率 2/3</small>	研究開発課題に対して、 概念実証や実現可能性調査を完了している スタートアップ等	原則 2年以内
	連結型：5,000万円以内 <small>(ステージゲート審査のみ)</small> <small>補助率 2/3</small>		



支援イメージ



(参考) 2025年度 研究開発課題一覧

✓ 毎年度テーマが変わりますので、ご注意ください。

区分	No	ニーズ元	フェーズ1	フェーズ2	分野タグ	研究開発課題
一 気 通 貫 型	1	経産省	NEDO	NEDO	# 福祉	高齢者の自立支援や介護者の負担軽減・生産性向上等に資する福祉機器の開発
	2	経産省	NEDO	NEDO	# 宇宙	民間宇宙活動で推進する産業発展及び国際競争力強化に資する技術開発
	3	経産省	NEDO	NEDO	# 製造	マグネシウム合金の固相リサイクル技術の深化
	4	経産省	NEDO	NEDO	# 製造	無人航空機・人工衛星等における安定的な通信確保のための電磁波耐性ソリューションの開発
	5	経産省	NEDO	NEDO	# 防災	避難所の衛生環境整備に関する技術
	6	経産省	-	NEDO	# 製造	製造業・工程内物流における協働モバイルマニピュレータ開発
	7	経産省	-	NEDO	# ロボ	サービスロボットの稼働率・利便性の向上のための開発
連 結 型	1	総務省	NEDO	総務省	# 通信	Beyond 5Gの実現、同技術を活用したサービスの社会実装・市場展開を見据えた研究開発
	2	厚労省	NEDO	厚労省	# 福祉	多様化する障害像を見据えた自立支援機器の開発
	3	農水省	NEDO	BRAIN	# 農業	食品産業における生産性向上に資するスマート化（自動化）技術の開発
	4	農水省	NEDO	BRAIN	# 林業	林業の安全性向上・労働負荷軽減・生産性向上に資する技術の研究開発
	5	農水省	NEDO	BRAIN	# 林業	森林由来の資源を活用した新素材・原料の研究開発（エネルギー利用を除く）
	6	国交省	NEDO	国交省	# 海事	海事分野のDX推進、生産性向上、労働負担軽減、安全・安心の確保等に資する研究開発
	7	国交省	NEDO	国交省	# 海事	海事分野のGX推進、脱炭素社会の実現に資する研究開発
	8	国交省	NEDO	国交省	# 物流	旅客の手荷物のコンテナへの積付の自動化の実現に向けたアルゴリズム開発
	9	環境省	NEDO	環境省	# 環境	CO ₂ 吸收・回収・分離・利用（固定）に関する技術開発
	10	環境省	NEDO	環境省	# 環境	AIを活用したClimate Tech開発
	11	内閣府(京都府)	NEDO	BRAIN	# 環境	廃棄による食品ロスの原因になっている未利用農産物等の高付加価値化を可能とする技術開発
	12	内閣府(京都府)	NEDO	環境省	# 環境	複合素材によるプラスチック類や汚染度が高いプラスチック類等を対象としたケミカル・マテリアルリサイクルの手法の技術開発

脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム

脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム

※2026年度公募（2月上旬公募開始予定）より一部フェーズにおいて補助対象費用の上限額や事業期間等が変更される予定です。

2040年度に高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発を支援し、
省エネルギー型経済社会構築・産業競争力強化をめざすプログラムです。

詳細ページ



フェーズ	補助対象費用 ※補助対象費用 × 補助率 = 補助金額	対象者	事業期間
FS調査フェーズ	1,000万円以内/年	補助率 3/4	1年以内
インキュベーション研究開発フェーズ	2,000万円以内/年		2年以内
実用化開発フェーズ	5億円以内/年 (2025年度公募までは3億円以内/年)		5年以内
実証開発フェーズ	10億円以内/年 (2025年度公募までは5億円以内/年)		3年以内 <small>※大学等の単独提案は不可</small>
フェーズⅠ	10億円以内/年	補助率 2/3	5年以内
フェーズⅡ	10億円以内/年	補助率 1/2	3年以内 <small>(2025年度公募までは5年以内)</small>

※ 応募者が大企業の場合は、低い方の補助率となります。

技術開発に対する補助金支援：スタートアップ支援事業

脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム

重要技術

- ✓ 以下の重要技術に該当する技術開発を支援。
- ✓ 応募の際には省エネルギー効果量の算出が必要（エネルギー使用量の削減に寄与しない技術は対象外）。

エネルギー転換・供給

次世代電力供給

- ・低炭素化・脱炭素化を実現する発電技術
- ・次世代電力流通技術
- ・再生可能エネルギー関連技術

再生可能エネルギーの有効利用

- ・供給側の調整力
- ・需要側の調整力

次世代エネルギーインフラ技術

- ・熱輸送技術
- ・水素等関連技術等

産業

高効率製造プロセス

- | | |
|--------------|---------------|
| 業種別 | |
| ・革新的な化学品製造技術 | ・革新的な半導体製造技術 |
| ・革新的な製鉄技術 | ・革新的なセメント製造技術 |
| ・革新的な自動車製造技術 | ・革新的なガラス製造技術 |
| 用途・手段別 | |
| ・革新的な加工技術 | ・革新的な熱利用製造技術 |

家庭・業務

ZEB・ZEH・LCCMプロセス

- ・ZEB・ZEH関連技術

情報機器・システム運用効率化プロセス

- ・省エネ型データセンター・ICT機器

運輸

次世代自動車システム

- ・次世代自動車等（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車）

ITS・スマート物流システム

- ・次世代自動車インフラ
- ・スマート物流システム（ITS）
- ・高度道路交通システム（ITS）

次世代航空・船舶・鉄道

- ・次世代航空・船舶・鉄道技術

一次エネルギー供給から最終エネルギー消費まで

部門横断

未利用熱の循環利用、熱エネルギー・システム技術の高度化、ヒートポンプ高度化技術、エネルギー・マネジメント技術、パワーエレクトロニクス技術、複合材料・セラミックス製造技術

算出方法

省エネルギー効果量

重点課題推進スキームは2040年度時点で
10万kL/年以上（原油換算値、国内）が要件

指標A

単位当たりの省エネルギー効果量

当該技術開発の成果物 1つ当たりのエネルギー削減量
(成果物：省エネ製品、材料、プロセス、システム等)

指標B

2040年度時点の市場導入(普及)量

事業化シナリオに基づく
2040年度時点での市場ストック量に相当

※ 上記算出が困難な場合は、「エネルギー削減率」&「全体のエネルギー消費量」を用いた算出も可能。

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

中小・スタートアップ企業等による再生可能エネルギー普及に資する
事業化支援を行います。

詳細ページ



制度	フェーズ	補助金額	事業期間	応募要件
新エネ中小・スタートアップ支援制度	フェーズA (FS) 	社会課題解決枠 新市場開拓枠 1,000万円以内	補助率 8/10	1年以内 中小企業
	フェーズα (FS) 	社会課題解決枠 新市場開拓枠 1,000万円以内	補助率 2/3	1年以内 中小企業
	フェーズB (基盤研究) 	社会課題解決枠 新市場開拓枠 5,000万円以内	補助率 8/10	2年以内 中小企業
	フェーズβ (基盤研究) 	社会課題解決枠 新市場開拓枠 7,000万円以内	補助率 2/3	2年以内 中小企業
	フェーズC (実用化研究開発) 	1.5億円以内	補助率 2/3	2年以内 中小企業
未来型新エネ実証制度	未来型新エネ実証制度 (事業化実証研究開発)		事前準備：2,000万円以内 補助率 大企業：1/2 中小企業：2/3	事前準備：1年以内 中小企業
			実証：3億円以内 補助率 大企業：1/2 中小企業：2/3	実証：3年以内 大企業

社会課題解決枠 … 実施体制に学術機関等が入っていること + 「公募の対象となる研究開発課題一覧表」に掲げる課題の解決に資する技術シーズを有していることが条件

新市場開拓枠 … 提案に関してVCからの出資を得ていること (or 得る予定であること) が条件

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

新エネ中小・スタートアップ支援制度

- ✓ 今後の再生可能エネルギー導入普及に向けて、研究開発段階から事業化段階までの一貫した支援を行う。

社会ニーズ等

潜在的技術シーズの発掘、広い間口による技術開発支援

外部有識者

事業化に向けたフォローアップ

成果報告等

成果報告に関する発表機会の創出



研究開発から事業化に結びつけるための支援

- アドバイザリー支援
- 資金獲得等に向けた機会の提供
- 広報宣伝活動支援
- 中小企業技術革新制度(SBIR制度)による支援

事業化

応募要件

制度	応募要件 詳細
新エネ中小・スタートアップ支援制度	<p>エネルギー基本計画等に示されている、以下の(ア)又は(イ)の分野に該当し、再生可能エネルギーの普及につながる提案であること。</p> <p>(ア) 太陽光発電、風力発電、中小水力発電、バイオマス利用（制限あり）、 再生可能エネルギー熱利用及びその他未利用エネルギー（ただし、原子力を除く）分野 ただし、「原子力」とは、原子核変換の過程において原子核から放出される全ての種類のエネルギー（原子力基本法第3条）を指します。</p> <p>(イ) 再生可能エネルギーの普及及びエネルギー源の多様化に資する新規技術（水素・燃料電池、蓄電池、エネルギー・マネジメントシステム等）</p>
未来型新エネ実証制度	<ul style="list-style-type: none"> • 再生可能エネルギーの大量導入に関する課題の解決に資する提案であり、事業期間終了後1年以内での事業化を目指す具体的な内容であること。 • 公募要領別添1に掲げる、NEDOが設定する課題に合致するテーマであること。 • 地域共生・地元合意が必要な案件については、実証研究開発実施前に、地元合意を形成するための事前準備を行うこと。

大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業／PoP（Proof of Product）フェーズ

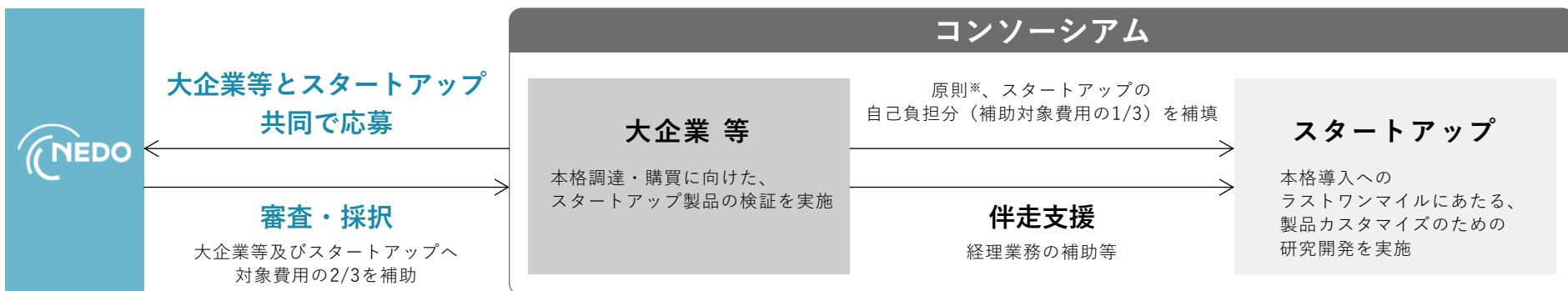
詳細ページ

ディープテック・スタートアップと、その製品等の調達・購買を希望する大企業等を対象に、本格的な調達・購買に至るための製品カスタマイズや製品導入検証を支援します。



技術シーズの開発研究	初期構想の発想・検討	試作品の開発	商用化の実現	市場開拓
対象者				事業期間
	革新的な技術の研究開発に取り組んでいる ディープテック・スタートアップと、 その製品・サービスの調達・購買を希望する大企業等。	1.5億円以内/件 補助対象費用全体のうち、70%以上は スタートアップの費用であることが必要	1年程度	

事業概要



※ スタートアップ側による辞退の意向がある場合は除く





シーズ発掘から事業化まで、フェーズ・領域に応じて網羅的・シームレスな事業支援を行っています。

技術開発に対する補助金支援

スタートアップ支援

P.04-26

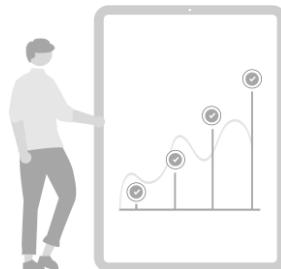
起業前の個人

スタートアップ

中小企業

大学・研究機関

長期の研究開発と大規模な資金を要する
ディープテック・スタートアップの研究開発
へ支援を行い、イノベーションを促進します。



支援対象分野

経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等）に係る
研究開発を行うもの。ただし、原子力技術に係るもののは除く。また、一部事業では、医薬品として医薬品医療機器総合機構（PMDA）の審査・承認を受けることを前提としたものや、
再生医療等製品に係る開発は除く。

技術シーズ発掘・ 育成（産学連携）支援

P.28-35

民間企業

大学・
研究機関

新産業創出に貢献する革新的な技術シーズの
発掘・育成を行う産学連携体制を支援します。



事業会社連携、人材育成等

エコシステム形成

P.36-48

スタートアップ

事業会社

VC
支援者等

研究開発の成果を最大限に活用するため、
支援人材の育成や事業会社との連携支援を行っています。



技術開発に対する補助金支援：技術シーズ発掘・育成（産学連携）支援

支援内容

コース	交付先		概要	ページ
	民間企業	大学・研究機関		
官民による 若手研究者発掘 支援事業	マッチングフェーズ	-	●	目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う 若手研究者を発掘し、実用化に向けた 産学連携体制での研究開発の実施を支援します。 P.30
	共同研究フェーズ	-	●	
	共同研究フェーズ 企業人材博士課程派遣型	●	-	
NEDO先導研究 プログラム	エネルギー・環境新技術先導研究プログラム	● 産学連携体制	脱炭素社会の実現や新産業の創出に向けて、 2040年以降の実用化・社会実装を見据えた 革新的な技術シーズを発掘・育成し、 将来の国家プロジェクト等につなげていきます。 P.32	
	エネルギー・環境分野における 革新的技術の国際共同研究開発	● 産学連携体制／ 大学・公的研究機関等による 海外機関との共同研究		
	新産業・革新技術創出に向けた 先導研究プログラム	● 産学連携体制		
	フロンティア育成事業	● 産学連携体制、民間企業のみ、 大学・公的研究機関等のみ		
	未踏チャレンジ	● 産学連携体制／ 大学・公的研究機関等のみ		
NEDO懸賞金活用型プログラム（NEDO Challenge）		●	●	技術課題や社会課題の解決に資するシーズ・ 解決策をコンテスト形式による懸賞金型の 研究開発方式を通じて募るプログラム。 P.34

官民による若手研究者発掘支援事業

[詳細ページ](#)

目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘し、
実用化に向けた産学連携体制での研究開発の実施を支援します。



技術シーズの開発研究

初期構想の発想・検討

試作品の開発

商用化の実現

市場開拓

フェーズ	補助金額	対象者	事業期間
 マッチングサポートフェーズ	1,000万円以内	若手研究者 以下条件①～③をいずれも満たす。 (事業開始年度の4/1時点) 条件①：大学等に所属 条件②：博士号の学位の取得者 条件③：45歳未満	2年以内
 共同研究フェーズ	3,000万円以内/年 共同研究等を実施する企業から支払われる共同研究等費と同額以下		3年以内
 共同研究フェーズ 企業人材博士課程派遣型	500万円以内/年 若手研究者が所属する企業が本テーマの実施にあたり支出する経費の1/2	若手研究者 以下条件①～②をいずれも満たす。 例外有。 (事業開始年度の4/1時点) 条件①：事業を実施する大学等の若手研究者と共同研究等を実施する企業に在籍 条件②：45歳未満	3年以内

事業紹介

マッチングサポートフェーズ

1,000万円以内 最大2年間

大学等に所属し、産業界が期待する目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を実施する若手研究者に対し、企業との共同研究等の機会を創出するためのマッチング支援を行う。

共同研究フェーズ

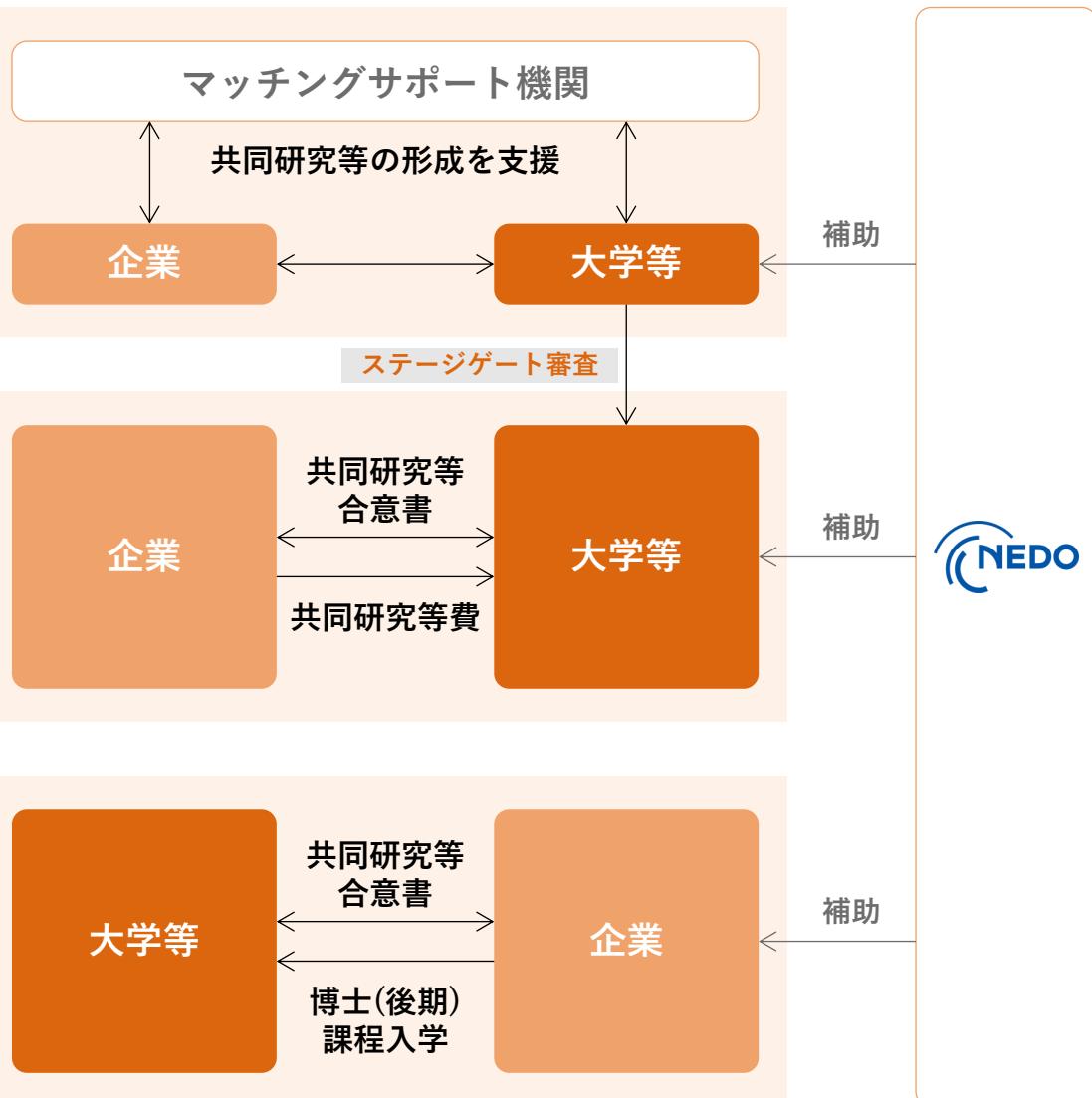
3,000万円以内/年 最大3年間

大学等に所属する若手研究者が企業と共同研究等の実施に係る合意書を締結し、企業から大学等に対して共同研究等費が支払われることを条件として、実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を実施するものについて補助。

共同研究フェーズ 企業人材博士課程派遣型

500万円以内/年 最大3年間

企業と大学等が共同研究フェーズにおいて補助事業を実施している場合に、企業に所属する若手研究者が大学等の博士（後期）課程に入学し、共同研究フェーズでの事業成果の実用化が加速すると考えられるテーマで研究開発を行うものについて補助。



NEDO先導研究プログラム

詳細ページ

脱炭素社会の実現や新規分野でのイノベーションの創出に向けて、2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究やスタートアップの創出等につなげていくことを目的とします。



技術シーズの開発研究

初期構想の発想・検討

試作品の開発

商用化の実現

市場開拓

プロ グ ラ ム	委 託 金 額	実 施 体 制	事 業 期 間
 エネルギー・環境新技術先導研究プログラム（エネ環）	1年目：1億円以内 2・3年目：5,000万円以内	産学連携体制 ※大学・公的研究機関等のみは不可	3年以内
 エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発	1年目：2,500万円以内 2・3年目：5,000万円以内 4年目：2,500万円以内	産学連携体制／大学・公的研究機関等による海外機関との共同研究	3年以内
 新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム（新新）	1年目：1億円以内 2・3年目：5,000万円以内	産学連携体制 ※大学・公的研究機関等のみは不可	3年以内
 フロンティア育成事業	技術やTRL等に応じ 事業規模を公募課題ごとに柔軟に設定	産学連携体制、民間企業のみ、 大学・公的研究機関等のみ（事業化に向けた体制構築に取り組むことが条件）	技術やTRL等に応じ 実施期間を公募課題ごとに柔軟に設定
 未踏チャレンジ	500～2,000万円以内/年	産学連携体制／ 大学・公的研究機関等のみ	5年以内

事業構成

NEDO先導研究プログラム
新技術・先導研究プログラム

プロ グ ラ ム	実用化・社会実装のタイミング	対象となる技術	その他の
 エネルギー・環境新技術先導研究プログラム（エネ環）	2040年以降	脱炭素社会の実現に資する革新技術	-
 エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発	2040年以降	脱炭素社会の実現に資する革新技術	<ul style="list-style-type: none"> 上記事業（エネ環）の国際共同研究を行う事業 我が国大学・公的研究機関等が諸外国の研究機関等との間で連携・協力して実施
 新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム（新新）	事業開始後15~20年以上先	脱炭素社会の実現に資する技術に限らない、新産業創出に向けた革新技術	2026年度からフロンティア育成事業に統合することを検討中
 フロンティア育成事業	2040年以降	脱炭素社会の実現と新産業の創出を目指した、将来的に高い成長が期待されるフロンティア領域における技術	フロンティア領域とは、将来的なポテンシャルが大きい一方で、技術開発や市場の不確実性といったリスクの高さ、巨額の研究開発設備投資の必要性などの理由で、国としては重点投資していくたいにも関わらず、個社だけでは投資が進みにくい領域
 未踏チャレンジ	事業開始後30年以上先	温室効果ガスの抜本的な排出削減を実現する技術	-

位置づけイメージ

NEDO先導研究プログラム

RFI

課題設定・公募

先導研究プログラム

国家プロジェクト

企業・大学間共同研究 等

社会実装

政策ニーズ

技術戦略

NEDO懸賞金活用型プログラム／NEDO Challenge

詳細ページ

技術課題や社会課題の解決に資するシーズ・解決策をコンテスト形式による懸賞金型の研究開発方式を通じて募るプログラム“NEDO Challenge”。多くの応募を促し、革新的なシーズをいち早く発掘し、共同研究等に繋げることを目指します。



技術シーズの開発研究

初期構想の発想・検討

試作品の開発

商用化の実現

市場開拓



懸賞広告



研究開発期間（非金銭的支援の提供）



応募



成果を周知する機会 (コンテスト)



懸賞金の交付



共同研究等

- ✓ 懸賞広告（設定された課題にする研究開発期間・成果の目標水準、懸賞金額等）を公表。
- ✓ 研究開発期間中の非金銭的支援（伴走支援、ネットワーク構築、追加支援他）等により、研究開発を促進。

- ✓ 応募者の成果を審査して順位を決め、上位数者に懸賞金を交付。

- ✓ シーズのユーザーとの連携機会の創出等の共同研究等の実現に向けた支援等実施。

技術開発に対する補助金支援：技術シーズ発掘・育成（産学連携）支援

NEDO懸賞金活用型プログラム

懸賞広告で掲げる課題

課題設定年度	課題	コンテスト	詳細
2024年度	量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発	NEDO Challenge, Quantum Computing "Solve Social Issues!"	特設サイト
	製造事業者の業務ノウハウを形式知化するデジタルソリューション開発	NEDO Challenge, 製造業DX ～製造技能の伝承・新たな製造ノウハウの構築をデジタルで実現せよ～	特設サイト
	衛星データを活用したソリューション開発	NEDO Challenge, Satellite Data -農林水産業を衛星データでアップデート！-	特設サイト
2025年度	国産基盤モデルを用いた社会課題の解決に資するAIエージェント開発	GENIAC-PRIZE	特設サイト
	官公庁等における審査業務等の効率化に資する生成AI開発	GENIAC-PRIZE	特設サイト
	生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及びリスク低減技術の開発	GENIAC-PRIZE	特設サイト
	地域の人手不足解消に資するロボット技術の開発	-	WEBサイト
	空港グランドハンドリング作業の生産性向上に向けた技術開発 (手荷物積付)	-	WEBサイト
	脳由来信号を活用した新システムの開発	-	WEBサイト
	広範囲な浅海における短時間計測・観測システムの開発	-	WEBサイト
	化粧品産業の持続可能性に係る問題解決に向けた研究開発	-	WEBサイト
	衛星データを活用したソリューション開発	-	WEBサイト

シーズ発掘から事業化まで、フェーズ・領域に応じて網羅的・シームレスな事業支援を行っています。

技術開発に対する補助金支援

スタートアップ支援

P.04-26

起業前の個人
スタートアップ
中小企業
大学・研究機関

長期の研究開発と大規模な資金を要する
ディープテック・スタートアップの研究開発
へ支援を行い、イノベーションを促進します。



支援対象分野

経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等）に係る
研究開発を行うもの。ただし、原子力技術に係るものは除く。また、一部事業では、医薬品として医薬品医療機器総合機構（PMDA）の審査・承認を受けることを前提としたものや、
再生医療等製品に係る開発は除く。

事業会社連携、人材育成等

技術シーズ発掘・ 育成（产学研連携）支援

P.28-35

民間企業
大学・
研究機関

新産業創出に貢献する革新的な技術シーズの
発掘・育成を行う产学研連携体制を支援します。



エコシステム形成

P.36-48

スタートアップ
事業会社
VC
支援者等

研究開発の成果を最大限に活用するため、
支援人材の育成や事業会社との連携支援を行っています。



事業会社連携、人材育成等：エコシステム形成 支援内容

	コース	対象者等			概要	ページ
		スタートアップ	大企業	VC 支援者等		
人材支援	研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座 ／NEDO SSA	-	-	●	研究開発型スタートアップの成長を伴走支援できる人材の育成を行うプログラム。	P.38
	大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事 ／MPM	-	-	●	経営人材を発掘・育成し、大学等の技術シーズや大学発スタートアップとのマッチングを行うための取組を支援。	P.40
	大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業【実証事業】	-	-	●	調達を見据えた大企業等とスタートアップ間の連携を強化し、大企業等の経営課題の解決に取り組むスタートアップの取組を後押し。	P.42
	事業会社等が保有する革新的な技術を活用したカーブアウトによるディープテック・スタートアップ創出等促進事業【実証事業】	-	-	●	事業会社が保有する革新的な技術を活用した「スタートアップ創出型カーブアウト」の加速・促進に向けて、導入に向けて支援。	P.43
	海外研究者招へい事業（STeP JAPAN / Science and Technology Fellowship Program for JAPAN）	●	●	-	海外の研究者を招へいして共同研究をする国内の民間企業を対象に、招へい研究者の滞在費や渡航費等を支給。	P.44
マッチング支援	オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 ／JOIC	●	●	-	オープンイノベーションの推進とベンチャー宣言の実現を通じ、産業のイノベーション創出と競争力強化を目的に設立された組織。	P.45
	NEDOデスク	●	-	-	全国の経済産業局とNEDOが連携し、技術開発に取り組む企業等からの相談に応じNEDOの支援策を説明、地域行事やイベントでNEDOの活動を紹介。	P.46
	Kawasaki-NEDO Innovation Center ／K-NIC	●	-	-	NEDO/川崎市/公益財団法人川崎市産業振興財団の三者連携により、研究開発型スタートアップと起業家の発掘から支援までを行う支援拠点。	P.47
	Plus (Platform for unified support for startups)	●	-	-	政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ相談窓口。	P.48

研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座／

NEDO SSA (NEDO Startup Supporters Academy)

詳細ページ

広い知見や専門性を持って、研究開発型スタートアップの成長を
伴走支援できる人材の育成を行うプログラムです。



対象者

研究開発型スタートアップの現場支援者
またはその候補者



対象者例

- ✓ 全国大学の产学連携・知財本部等のシーズの社会実装や事業化に従事もしくは関心のある関連教職員、URA、コーディネーター、TLO役職員、ポストドク等
- ✓ イノベーション・モノづくり支援等を担う自治体部局や公的産業支援機関の担当職員、インキュベーションマネージャー、コーディネーター
- ✓ 民間企業にてオープンイノベーションや社内発のカーブアウト、スピンドルベンチャー創出、CVC活動等、スタートアップ支援に関する専門性・キャリアを高めたい関係部局の担当者
- ✓ VC等で、各地の研究機関や公的機関と連携し、シード段階から積極的に技術の目利きや掘り起こしを行い、研究開発型SU等の個社支援やハンズオン支援のスキル習得、専門性を志向するキャピタリスト

受講要件等

- ✓ 日本のスタートアップエコシステムの構築・発展を目的に、広い知見や専門性を持って客観的視点から先端の研究開発型スタートアップの発掘・成長までを伴走支援できる「支援人材」を募集し、育成します。

受講要件	定 員	2026年度募集については未定
	募 集	2026年度募集については未定
	参 加 費	無料（ただし、参加に係る交通費等の実費は自己負担）

受講の流れ

- ✓ 研究開発型スタートアップの創出や支援に必要なマインドセットや、知識・スキルに関する講義やワークショップ、起業家の“生”的支援現場を体感するOJT、支援者ネットワークの構築等、充実したプログラムを提供します。
- ✓ NEDOは、SSAを通じて研究開発型スタートアップ支援の中核的役割を担う支援人材を育成・輩出を目指します。

開講研修

3日程度

研究開発型スタートアップの支援人材として活躍するために必要な知識やマインドといった基礎について、座学やディスカッション、ワークショップ等で学んで頂きます。

地域エコシステム 研修

3日程度

地方のイノベーション施設の見学やスタートアップや講師とのディスカッションを通じて研究開発型スタートアップに対する支援人材としてのマインドセットを醸成していただきます。

合宿研修

合宿形式 / 1泊2日

研究開発型スタートアップの企業支援に必要なテクニカルスキルの習得、ケースワーク等に取り組み、スタートアップ目線の伴走スキルを身に着けていただきます。

OJT研修

3ヵ月程度

スタートアップに対するメンタリングへの同伴やスタートアップピッチイベント等に参加し、研究開発型スタートアップに対する支援の現場を体験して頂きます。

修了研修

2日程度

OJT研修で学んだ事についての報告会等を実施します。



修了証書授与

プログラム修了後、所定の審査を経て修了証を発行します。

大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業／ MPM (Management Personnel Matching program)

VC等が経営人材を発掘・育成し、大学等の技術シーズや大学発スタートアップとのマッチングを行うための取組を支援します。

詳細ページ



対象者	委託金額	事業期間
経営人材とマッチングした大学発スタートアップの成長のために積極的に関わるVC等事業者。 ※ 大学等や大学発スタートアップが直接応募できる事業ではありません。	8,000万円以内/件 事業者：3～5程度 対象経費 本業務を実施する際に必要な労務費、及びその他経費、間接経費、再委託費を計上することができます。（研究開発費は対象外） ただし、実施期間中に経営人材一人あたりに支払える労務費等は「700万円以内」です。	1.5年程度



採択事業者に求められる主な実施内容



経営人材の発掘・育成

発掘・獲得

経営人材としてのターゲット層の絞り込みや条件定義を行った上で、事業者独自の手法で発掘・獲得を実施。

育成

大学発スタートアップの成長において経営人材に必要な知識や経験等の「質」を定義・確認した上で、教育・研修プログラム等を企画、実施。

経営人材として 経営参画するための 環境整備

維持・確保

経営人材が活躍するための経営参画条件（給与等の参画形態や業務管理、社会保障等）や知的財産、株式等の取扱含む規則等の整備。

活躍の評価

経営人材のマッチングが大学発スタートアップの成長へ与える効果についての中長期的な時間軸（業務期間中、終了時点、その後等）での評価。

マッチング機会創出

出会い > 関係構築 > 意思決定

経営人材が大学発スタートアップとイベントや個別紹介等で「出会い」、具体的な伴走支援等について双方が双方を理解し合い「関係構築」し、スタートアップの成長を一緒に担いスタートアップの設立もしくは経営への参画等の「意思決定」に至るまでを支援。

※ KPIは、マッチング創出数や大学発スタートアップ参画数等

大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業【実証事業】

大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業【実証事業】

大企業等によるスタートアップ調達・購買の加速化と持続的な連携の促進や
両者を含むエコシステムの活性化に向けて、
受託者による試行錯誤を含めたマッチングプログラムの実証を行います。

詳細ページ



対象者	委託金額	事業期間
ベンチャーキャピタル、アクセラレーター等 	4,000万円以内/件 より加速的な取組を提案する場合は、 6,000万円（消費税込）以内も可能。	NEDO指定日から 年度末まで

事業概要

- ✓ 大企業等の課題やより潜在的・本質的なニーズを深掘り、事業テーマとして整理を行い、その事業テーマと合ったスタートアップの探索や交渉、調整さらに大企業等の意思決定等の各プロセスについて、受託者による試行錯誤を含めたマッチングプログラムを実証することを目的として実施します。

2025年
採択企業

- 株式会社ゼロワンブースター
- 株式会社三菱UFJ銀行
- ユニバーサルマテリアルズ
インキュベーター株式会社



事業会社等が保有する革新的な技術を活用したカーブアウトによる ディープテック・スタートアップ創出等促進事業【実証事業】

詳細ページ

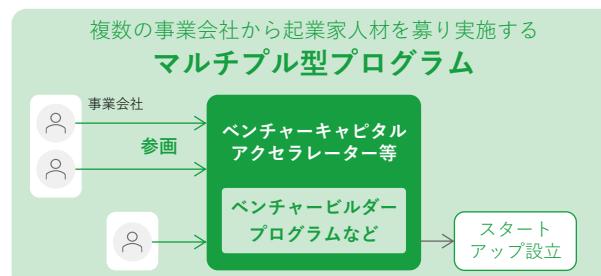
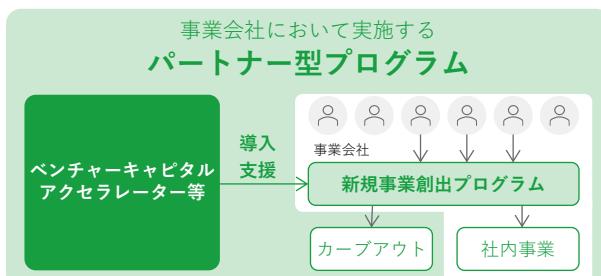
事業会社が保有する革新的な技術等を活用したカーブアウトによる
ディープテック・スタートアップを創出する「スタートアップ創出型カーブアウト」の
加速・促進に向けて、導入に向けて支援します。



対象者	委託金額	事業期間
ベンチャーキャピタル、アクセラレーター等 	6,000万円以内/件 事業者：6程度	NEDO指定日から 1.5年程度

事業概要

- ✓ カーブアウトによるディープテック・スタートアップの創出等を、
以下の2パターンにて実証します。



2024年 採択企業

- 株式会社eiicon
- 株式会社ゼロワンブースター
- デロイト トーマツ
ベンチャーサポート株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- ユニバーサル マテリアルズ
インキュベーター株式会社

海外研究者招へい事業

(STeP JAPAN / Science and Technology Fellowship Program for JAPAN)

詳細ページ

海外の研究者を招へいして共同研究をする国内の民間企業を対象に、
招へい研究者の滞在費（最大22,000円/日）や渡航費等を支給します。



招へい対象	応募できる企業	支給内容	招へい期間
<p>以下条件をすべて満たす研究者</p> <ul style="list-style-type: none">① 受入機関において、一定期間研究できること② 鉱工業基盤技術に関し優れた識見を有する者であって、我が国の博士号に相当する学位を有する者、又はこれと同等の研究能力を有すると認められる者③ 外国籍の研究者、又は外国におおむね10年以上在住の日本国籍を有し当該国の学界で活躍している研究者 	<p>国内の民間企業</p> <p>※ 民間企業が応募者とした上で民間の基盤技術の向上に有効と認められる場合、民間企業以外の研究機関、大学等と共同研究、関連施設の利用も可能。</p>	<p>✓ 滞在費</p> <ul style="list-style-type: none">・ クラスA : 22,000円/日 「優れた研究業績を有する研究者」 or 「高度な専門知識を有する者」・ クラスB : 17,000円/日 「上記以外の研究者」 or 「専門知識を有する者」 <p>✓ 支度料 : 124,000円</p> <p>✓ 渡航費、保険料、出張旅費</p>	<p>最長 12か月</p>

事業概要

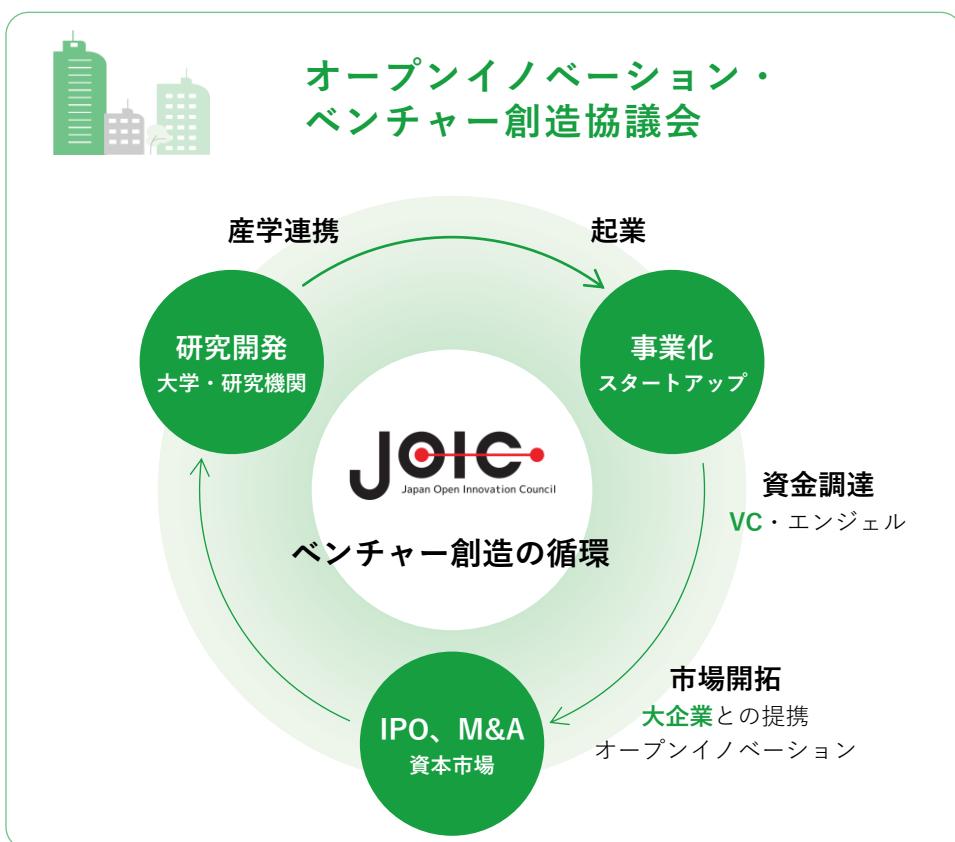


オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会／JOIC (Japan Open Innovation Council)



民間事業者の「オープンイノベーション」の取組を推進するとともに、「ベンチャー宣言」を実現することにより、我が国産業のイノベーションの創出及び競争力の強化に寄与することを目的として設立された組織です。

詳細ページ



オープンイノベーションの機会創出

ピッチイベント

- NEDOピッチ（アグリテック、ロボティクス等、各回テーマを設定）※
- NEDOプライベートピッチ（事業会社1社に対して実施するイベント）※※

その他支援

- ディープテック・スタートアップに対する
プッシュ型伴走支援 ※
- ディープテック・スタートアップに関する
情報提供

※NEDO事業修了者を中心に実施

※※JOIC会員事業会社向け



▲ NEDOピッチの様子

オープンイノベーションの実行に関わる研修

オープンイノベーションワークショップ 2025年の事例

- 第1回
大企業×スタートアップによる
パネルディスカッション
- 第2回
市場洞察による共創アイデアの創出WS
- 第3回
事業共創案の発信 「リバースピッチ」



▲ 第1回ワークショップの様子

その他
イベントも
随時開催！

NEDOデスク

詳細ページ

全国の経済産業局とNEDOが連携し、技術開発に取り組む企業等からの相談に応じて
NEDO の支援策を説明するほか、地域における行事やイベントでNEDOの活動を紹介しています。



近畿NEDOデスク

近畿経済産業局 地域連携推進課

E-mail : kansai-nedodesk@meti.go.jp

四国NEDOデスク

四国経済産業局 新規事業推進課

E-mail : exl-nedo-shikoku@meti.go.jp

Tel : 087-811-8517

中国NEDOデスク

中国経済産業局 イノベーション推進課

E-mail : bzl-cgk-inovation@meti.go.jp

Tel : 082-224-5680

九州・沖縄NEDOデスク

九州経済産業局 産業技術革新課

Tel : 092-482-5465

内閣府沖縄総合事務局 地域経済課

E-mail : bzl-oki-gijutsu@meti.go.jp

Tel : 098-866-1730



北海道NEDOデスク

北海道経済産業局 地域経済課

E-mail : bzl-hokkaido-chiikikeizai@meti.go.jp

東北NEDOデスク

東北経済産業局 地域経済課 Tel : 022-221-4876

相談依頼 <https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/sangyokyosoryoku/topics/250314.html>

関東NEDOデスク

関東経済産業局 産業技術革新課 総括班

E-mail : bzl-s-kanto-kakushin@meti.go.jp

Web : https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/innov/kanto_nedo_desk.html

Tel : 048-600-0236

中部NEDOデスク

中部経済産業局 イノベーション推進課

E-mail : bzl-chubu-nedodesk@meti.go.jp

Tel : 052-951-2774

Kawasaki-NEDO Innovation Center / K-NIC

利用
無料

NEDO、川崎市、公益財団法人川崎市産業振興財団の三者連携により行う
起業家支援拠点です。

詳細ページ



成長分野における独自技術の事業化を目指す
起業家・新分野に進出するスタートアップを対象に、
各分野の専門家によるアドバイスをはじめとした
投資家向けのピッチイベントやメンバー会員同士の交流会など
さまざまな支援メニューを提供します。

おすすめの実施プログラム

コミュニケーション
面談



分野別相談会



起業に役立つイベント

- 資金調達・政策セミナー
- 組織作りセミナー
- 人材採用セミナー 等

イベント詳細



概要

所在地 〒212-8554
川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー5階

T E L 044-201-7020

営業時間 10時～18時（最終受付17時）

休業日 土曜/日曜/祝日、年末年始（12/29-1/4）、ビル休館日

Plus (Platform for unified support for startups)

詳細ページ

2020年に創設された政府系スタートアップ支援プラットフォームです。
支援者同士の勉強会や、スタートアップの相談窓口を開設しています。



政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ窓口

Plus One

✓ Plusでの22機関間連携を活用し、
一元的な相談体制を構築

✓ 受けたい支援タイプのタイプ別検索が可能

ご利用の流れ

フォームより
お問い合わせ

運営事務局

- メール、電話、
オンライン面談等で相談
- 参加機関の支援メニューから
最適なものをご紹介

必要に応じて
各機関へ連携

参加機関

シード期

技術シーズ創出・研究開発・
人材育成支援



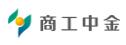
アーリー期

支援・ファンディング



エクスパンション期

海外展開支援



金融支援・投資



地域経済活性化支援機構



知財支援



	事業名（略称）	現在の状況	公募頻度	公募情報（あくまで予定のため変更の可能性がございます）	ページ
技術開発に対する補助金支援 スタートアップ支援	NEP 開拓コース	現在公募中	1年に1回	2026年1月5日～2月24日	P.10
	NEP 躍進コース	-	1年に1回	2026年3月頃公募開始予定	P.12
	DTSU・GX事業	-	1年に4回程度	2025年10月15日～12月3日	P.14
	UPP事業・GX_UPP事業	-	1年に2回	2025年11月19日～12月22日、2026年春公募開始予定	P.16
	国際共同研究開発事業	-	1年に1回	2026年10月頃公募開始予定	P.18
	SBIR事業	-	1年に1回	連結型：2026年3月頃公募開始、一気通貫型：2026年4月頃公募開始	P.20
	脱炭素省エネ事業	-	1年に1回	2026年2月頃公募開始予定	P.22
	新エネシーズ事業	-	1年に2回	2026年3月頃公募開始予定	P.24
	大企業調達PoP	-	1年に1回	2025年12月10日～2026年1月9日	P.26
発掘・技術育成シーズ支援	若サポ事業	-	1年に1回	2026年3月頃公募開始予定	P.30
	先導研究事業	-	1年に1回	2026年1月26日～2月27日(エネ環、フロンティア育成)、2026年1月26日～3月26日(国際)、2026年2月頃開始予定(未踏)	P.32
	NEDO懸賞金事業	-	1年に複数回	「懸賞広告で掲げる課題」ページを参照	P.34
事業会社連携、人材育成等 エコシステム形成	SSA	-	1年に2回	2026年4月、9月頃公募開始予定	P.38
	MPM	-	1年に1回	2026年3月頃公募開始予定	P.40
	大企業調達	-	未定	未定	P.42
	カーブアウト促進事業	-	未定	未定	P.43
	STeP JAPAN	-	1年に1回	2026年6月頃公募開始予定	P.44



支援先へのお問い合わせ

一般的なお問い合わせ・支援先に関するご質問

NEDOの支援先企業や制度全般に関するご質問、
どの部署に連絡すればよいか不明な場合は「[Plus](#)」をご利用ください。



担当部署が明確な場合

特定の事業やプロジェクトのお問い合わせなど、担当部署が既に決まっている場合は各部署へ直接ご連絡ください。

公式Facebook（NEDOスタートアップクラブ）



イベントや公募情報、最新の取り組みなどを発信しています。



J-Startup



外部有識者からの推薦に基づき、潜在力のある企業を選定しています。
現在、全272社選定済。



NEDO 2026年 テーマ公募事業一覧 (2026/2/2現在)

事業名称		対象技術分野	事業内容	対象者等	助成・委託規模(上限金額)		事業期間	公募予告/公募期間	過去の公募期間、参考サイト、備考(過去採択率等)			
ディープテック分野での技術シーズを活用したアイデアの実現可能性調査を行う起業家候補人材を募集 ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業 (NEP)	開拓コース	新規性・革新性の高い技術・分野横断	ディープテック分野での技術シーズを活用したアイデアの実現可能性調査を行う起業家候補人材「NEDOFront-Runner(FR)」を募集。	起業前の個人(チームでも可)	活動費：上限 3百万円(月額25万円/税込み) 専門家による研修：人材育成プログラム		2026年4月下旬から2027年3月31日迄(12か月程度)	2026年1月5日～2月24日	開拓コース 2023/3/20～2023/5/9 2023/12/28～2024/2/26 2025/1/6～2025/2/24	2023年度:採択35件 2024年度:採択51件 2025年度:採択58件		
				法人(応募時は個人可。交付申請時は法人設立)	助成率100%	500 5百万円(助成対象費用)	12ヶ月以内	2025年 3月3日～4月18日	躍進コース 2023/3/20～2023/5/9 2024/3/12～2024/4/18 2025/3/3～2025/4/18	2023年度:採択28件 2024年度:採択24件 2025年度:採択31件		
	躍進コース			ディープテック分野で具体的な技術シーズを活用したビジネスモデルを有する起業家候補人材を公募		3000 3千万円(助成対象費用)						
				A: カップアット予定の個人・チーム B: カップアットした法人		A 5百万円(助成対象費用) B 3千万円(助成対象費用)						
	STSフェーズ			要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発の方向性を決めるための事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(前期)のスタートアップ	助成率2/3以下				第4回: 採択7件/応募35件 第5回: 採択3件/応募19件 第6回: 採択5件/応募30件 第7回: 採択6件/応募32件 第8回: 採択8件/応募44件 第9回: 採択3件/応募21件 第10回: 採択4件/応募21件 第11回: 採択4件/応募21件 第12回: 採択7件/応募31件 第13回: 採択5件/応募33件 第14回: 採択2件/応募5件 第15回: 採択0件/応募3件 第16回: 採択1件/応募3件 第17回: 採択0件/応募6件 第18回: 採択0件/応募8件		
				試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(後期)のスタートアップ	助成率2/3以下						
				量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るために必要な量産化実証の実施	量産化施策実証のスタートアップ	助成率2/3以下 もしくは1/2以下						
技術の確立迄の研究開発に長期かつ大規模な資金を要し技術の事業化までに長期間を要するディープテック・スタートアップの実用化研究開発フェーズ、量産化実証を支援 ディープテック・スタートアップ支援事業(DTSU)	PCAフェーズ			要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発の方向性を決めるための事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(前期)のスタートアップ	助成率2/3以下	1.5～2年程度 (ただし同一フェーズ内で最長4年)	通年公募 第7回提案書受付期間 2025年2月25日～3月5日	第1回 2023/5/15～5/25 第2回 2023/8/21～8/31 第3回 2023/11/27～12/7 第4回 2024/4/22～4/30 第5回 2024/7/9～7/24 第6回 2024/10/24～10/30 第7回 2025/2/25～3/5 第8回 2025/7/9～16 第9回 2025/11/26～12/3	第4回: 採択7件/応募35件 第5回: 採択3件/応募19件 第6回: 採択5件/応募30件 第7回: 採択6件/応募32件 第8回: 採択8件/応募44件 第9回: 採択3件/応募21件 第10回: 採択4件/応募21件 第11回: 採択4件/応募21件 第12回: 採択7件/応募31件 第13回: 採択5件/応募33件 第14回: 採択2件/応募5件 第15回: 採択0件/応募3件 第16回: 採択1件/応募3件 第17回: 採択0件/応募6件 第18回: 採択0件/応募8件		
				試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(後期)のスタートアップ	助成率2/3以下						
				量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るために必要な量産化実証の実施	量産化施策実証のスタートアップ	助成率2/3以下 もしくは1/2以下						
	DMPフェーズ			要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発の方向性を決めるための事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(前期)のスタートアップ	助成率2/3以下						
				試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(後期)のスタートアップ	助成率2/3以下						
				量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るために必要な量産化実証の実施	量産化施策実証のスタートアップ	助成率2/3以下 もしくは1/2以下						
事業を通じたCO2の排出削減と経済成長を同時に実現するGX分野のディープテック・スタートアップの実用化研究開発フェーズ、量産化実証フェーズを支援 GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業(GX)	STSフェーズ			要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発の方向性を決めるための事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(前期)のスタートアップ	助成率2/3以下	1.5～2年程度 (ただし同一フェーズ内で最長4年)	通年公募 第4回提案書受付期間 2025年2月25日～3月5日	第1回 2023/5/15～5/25 第2回 2023/8/21～8/31 第3回 2023/11/27～12/7 第4回 2024/4/22～4/30 第5回 2024/7/9～7/24 第6回 2024/10/24～10/30 第7回 2025/2/25～3/5 第8回 2025/7/9～16 第9回 2025/11/26～12/3	第4回: 採択7件/応募35件 第5回: 採択3件/応募19件 第6回: 採択5件/応募30件 第7回: 採択6件/応募32件 第8回: 採択8件/応募44件 第9回: 採択3件/応募21件 第10回: 採択4件/応募21件 第11回: 採択4件/応募21件 第12回: 採択7件/応募31件 第13回: 採択5件/応募33件 第14回: 採択2件/応募5件 第15回: 採択0件/応募3件 第16回: 採択1件/応募3件 第17回: 採択0件/応募6件 第18回: 採択0件/応募8件		
				試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(後期)のスタートアップ	助成率2/3以下						
				量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るために必要な量産化実証の実施	量産化施策実証のスタートアップ	助成率2/3以下 もしくは1/2以下						
	PCAフェーズ			要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発の方向性を決めるための事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(前期)のスタートアップ	助成率2/3以下						
				試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(後期)のスタートアップ	助成率2/3以下						
				量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るために必要な量産化実証の実施	量産化施策実証のスタートアップ	助成率2/3以下 もしくは1/2以下						
	DMPフェーズ			要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発の方向性を決めるための事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(前期)のスタートアップ	助成率2/3以下						
				試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発(後期)のスタートアップ	助成率2/3以下						
				量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るために必要な量産化実証の実施	量産化施策実証のスタートアップ	助成率2/3以下 もしくは1/2以下						
ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 (UPP)	ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 (UPP)		産業技術分野	一定の研究開発を終えたスタートアップに対して、事業開発活動(商用の設備投資やソフトウェア投資、当該投資と併せて行う、研究開発の成果の有効性等を示すためのユーザー実証等)を支援	量産化やスケールアップのための主たる技術を確立済みのスタートアップ	補助率1/2以下 又は1/3以下	30億円	3年間(最長で2028年3月まで)	年2回程度	第1回 2025/3/18～4/21 第2回 2025/11/13～12/22 第3回 2026春頃～(予定)	第1回 採択3件/応募4件	
	GX分野のディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 (GX_UPP)		エネルギー・環境分野	一定の研究開発を終えたスタートアップに対して、事業開発活動(商用の設備投資やソフトウェア投資、当該投資と併せて行う、研究開発の成果の有効性等を示すためのユーザー実証等)を支援	量産化やスケールアップのための主たる技術を確立済みのスタートアップ	補助率1/2以下	50億円	4年間	年2回程度	第1回 2025/3/18～4/21 第2回 2025/11/13～12/22 第3回 2026春頃～(予定)	第1回 採択1件/応募1件	
	海外の事業者との共同研究開発を希望するディープテック・スタートアップに対し、当該国際共同研究開発を支援 国際共同研究開発		新規性・革新性の高い技術・分野横断	ディープテック・スタートアップが海外企業と行う共同研究開発に対し、NEDOと相手国側の研究開発・イノベーション支援機関(公的支援機関)が並行して、それぞれ自国企業の研究開発費用の一部を助成します。(相手国側企業も当該国の公的支援機関の公募に応募する必要があります。)	研究開発型スタートアップ 未上場の中小企業	助成率2/3以内	1億円/件	原則として2年～3年	年1回程度	2025/10/14～2026/1/21	2023年度:採択3件/応募18件 2024年度:採択4件/応募23件	
	社会ニーズ・政策課題に基づく研究開発テーマ解決にチャレンジするスタートアップを支援 SBIR推進プログラム (Small Business Innovation Research)		各省庁ニーズに基づく研究開発課題	政府機関が解決を目指す社会課題を基に研究開発テーマを設定し、その解決に資する研究開発成果を円滑に社会実装しイノベーション創出につなげるスタートアップや中小企業を支援します。フェーズ1 基盤研究のための概念実証・実現可能性調査を実施 フェーズ2 実用化に向けた研究開発を実施	フェーズ1 研究開発型スタートアップ	一気通貫型 連続型	2千万円/事業期間 1.5千万円/事業期間	原則として1年内	それぞれ年1回程度 連結型 公募予告: 2026年2月下旬(予定) 公募期間: 2026年3月中旬～下旬(予定) 第2回福社課題7/4～8/5 2023年度 連結型 6/30～7/31 一気通貫型 3/31～5/10 2024年度 連結型 4/1～5/1 一気通貫型 4/30～5/31 2025年度 連結型 3/21～4/21 一気通貫型 5/14～6/13	2021/08/16～2021/9/17 2022年度 第1回 5/26～6/27 第2回 6/28～7/29 第2回福社課題7/4～8/5 2023年度 連結型 6/30～7/31 一気通貫型 3/31～5/10 2024年度 連結型 4/1～5/1 一気通貫型 4/30～5/31 2025年度 連結型 3/21～4/21 一気通貫型 5/14～6/13	2021年度:採択14件/応募40件 2022年度第1回:採択7件/応募20件 福社課題:採択3件/応募12件 2022年度第2回:採択2件/応募7件 福社課題:採択1件/応募9件 2023年度一気通貫型:採択19件/応募41件 連結型:採択8件/応募10件 2024年度 連結型:採択20件/応募35件 一気通貫型:採択18件/応募43件 2025年度 連結型:採択8件/応募37件 一気通貫型:採択11件/応募34件	
					フェーズ2	一気通貫型	助成: 助成率2/3	1億円/事業期間	原則として2年内			

事業名稱		対象技術分野	事業内容	対象者等	助成・委託規模(上限金額)	事業期間	公募予告/公募期間	過去の公募期間、参考サイト、備考(過去採択率等)	
ス タ ー ト ア ッ プ 支 援	革新的な省エネルギー技術の開発と共に、社会実装に向けた取り組みを支援 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム	個別課題推進スキーム	省エネルギー「省エネ法」で定められたエネルギー(燃料、熱、電気)の使用量削減に繋がる技術開発・調査	企業・大学等 (企業必須、大学単独の提案は不可)	FS調査フェーズ インキュベーション研究開発フェーズ	助成率3/4以内 1千万円/年 (技術開発費上限※3) 助成率2/3又は1/2以内 2千万円/年 (技術開発費上限※3,4)	1年以内 2年以内	2021/3/29~2021/5/13 2022/2/3~2022/3/14 2022/7/25~2022/8/24 2023/2/2~2023/3/13 2023/7/10~2023/8/24 2024/3/8~2024/4/18 2025/2/7~2025/3/13 ※3:NEDO負担率+実施者負担額 ※4:複数フェーズでの事業を行なう場合、次フェーズに進む際に継続可否の審査を行う。 ※5:事業期間が3年以上の場合、途中で継続可否の審査を行う。 https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00082.html	
					実用化開発フェーズ 実証開発フェーズ	助成率2/3又は1/2以内 5億円/年 (技術開発費上限※3,4) 助成率1/2又は1/3以内 10億円/年 (技術開発費上限※3,4)	5年以内 ※5 3年以内 ※5		
		重点課題推進スキーム			重点課題推進スキーム	助成率2/3又は1/2以内 10億円/年 (技術開発費上限※3,4)	フェーズI：5年以内 ※5 フェーズII：3年以内 ※5		
					フェーズA 補助率8/10 1千万円/件 フェーズB 補助率8/10 5千万円/件	1年以内 2年以内	第1回 フェーズA/B/a/β/C 2023/2/27~2023/4/13 フェーズD 2023/5/16~6/30 第2回 フェーズA/B/a/β/C 2023/9/6~2023/11/9 第1回 フェーズA/B/a/β/C 2024/3/25~2024/5/16 第2回 フェーズA/B/a/β/C 2024/9/2~2024/10/10 未来型 2024/8/9~9/20 第1回 フェーズA/B/a/β/C 2025/4/24~2025/6/12 第2回 フェーズA/B/a/β/C 2025/10/8~2025/11/25 未来型 2025/10/8~ 2025/11/25 ※3:NEDO負担率+実施者負担額 ※4:複数フェーズでの事業を行なう場合、次フェーズに進む際に継続可否の審査を行う。 ※5:事業期間が3年以上の場合、途中で継続可否の審査を行う。 https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00082.html		
					フェーズa 補助率2/3 1千万円/件 フェーズβ 補助率2/3 7千万円/件	1年以内 2年以内			
	再生可能エネルギー分野の事業化を目指した技術開発を支援 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業	再生可能エネルギー等	本事業は、技術の事業化までのステップや事業化計画の進捗状況に合わせて、2つの制度(新エネ中小・スタートアップ支援制度、未来型新エネ実証制度)及び新エネ中小・スタートアップ支援制度に5つのフェーズ(社会課題解決枠フェーズA及びB、新市場開拓枠フェーズa及びb、フェーズC)を設け、中小・スタートアップ企業等による再生可能エネルギー普及に資する事業のご提案を公募・選定し、事業化を見据えた技術開発支援を行ないます。また、「イノベーション・コスト構想」の推進につながる技術開発や実用化・実証研究については支援を強化します。	中小企業等 国内に登記済の企業等	フェーズC：補助率 2/3 1.5億円/件	2年以内			
					未来型新エネ実証制度 補助：補助率 2/3 3億円/件(大企業は補助率1/2) ※事前準備 2千万円	事前準備1年 実証3年以内			
					【HiP】VC等事業者 【PoP】/【GX_PoP】大企業等+スタートアップ (詳細要確認)	【HiP】委託: NEDO負担率 100% 【PoP】/【GX_PoP】補助：2/3以下 【HiP】4千万円以内/件・事業者 【PoP】/【GX_PoP】1.5億円以内(予定)	1年程度予定	【HiP】2025年3月21日 ～4月21日 【PoP】2025年12月10日～2026年1月9日	
					<マッチングサポートフェーズ> 助成:1テーマあたり1千万円以内 <共同研究フェーズ> 助成:1テーマあたり3千万円以内/年 ※企業からの共同研究等費と同額以下	最大2年	2025年3月31日 ～5月9日	2020/12/28～2021/2/5 2021/8/31～2021/10/25 2022/3/28～2022/5/16 2023/2/6～2023/4/11 2024/3/27～2024/5/14 2024/10/11～2024/11/19	
					共同研究フェーズにおいて大学等と共同研究等を実施する企業に所属する若手研究者(45歳未満) <共同研究フェーズ(企業人材博士課程派遣型)> 助成:1テーマあたり5百万円以内/年 ※助成事業に企業が要する助成対象費用の1/2	最大3年			
技術シーズ発掘・育成（産学連携）支援	次世代のイノベーションを担う人材の育成、我が国における新産業の創出に貢献 官民による若手研究者発掘支援事業	産業技術分野 工エネルギー・環境分野	目的指向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘し、実用化に向けた産学連携体制での研究開発の形成・実施を支援することにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、我が国における新産業の創出に貢献することを目的として実施します。	大学等の若手研究者(45歳未満) 出産・育児・介護により研究に専念できない期間があった者については50歳未満とする	<マッチングサポートフェーズ> 助成:1テーマあたり1千万円以内 <共同研究フェーズ> 助成:1テーマあたり3千万円以内/年 ※企業からの共同研究等費と同額以下	最大2年			
					共同研究フェーズにおいて大学等と共同研究等を実施する企業に所属する若手研究者(45歳未満) <共同研究フェーズ(企業人材博士課程派遣型)> 助成:1テーマあたり5百万円以内/年 ※助成事業に企業が要する助成対象費用の1/2	最大3年			
	将来の国家プロジェクトになり得る革新的な技術シーズの発掘・育成 NEDO先導研究プログラム 新技術先導研究プログラム	エネルギー・環境新技術先導研究プログラム	エネルギー・環境分野	脱炭素社会の実現に向けて、2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む产学研連携体制による共同研究等につなげます。	企業・大学等による産業連携体制のみ 委託(NEDO100%負担) 1年目：1億円以内 2年目：5千万円以内 3年目：5千万円以内(中間評価の結果による)	最長3年間 2年目に 中間評価	2026年1月26日～2月27日	2020/12/25～2021/2/12 2021/12/28～2022/2/16 2022/12/27～2023/2/15 2024/1/26～2024/2/29 2025/1/27～2/28	
		エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発	エネルギー・環境分野	脱炭素社会の実現に向けて、2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む产学研連携体制による共同研究等につなげます。我が国大学・公的研究機関等が諸外国の研究機関等との間で連携・協力して行なうことを前提とします。	研究機関・大学等(企業・大学等による产学研連携体制を推奨、企業のみの体制は不可) 委託(NEDO100%負担) 初年度：2.5千万円以内 2年度：5千万円以内 3年度：5千万円以内(中間評価の結果による) 4年度：2.5千万円以内(中間評価の結果による)	最長3年間 2年目に 中間評価	2026年1月26日～3月26日	2020/12/25～2021/2/12 2021/2/28～2022/2/16 2023/1/27～2023/3/27 2024/1/26～2024/3/26 2025/1/27～3/26	
		新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム	産業技術分野	新産業・革新技術創出に向けて、事業開始後15年から20年以上先の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む产学研連携体制による共同研究等につなげます	企業・大学等による産業連携体制 委託(NEDO100%負担) 1年目：1億円以内 2年目：5千万円以内 3年目：5千万円以内(中間評価の結果による)	最長3年間 2年目に 中間評価	-	2021/2/10～3/26(マテ先) 2021/12/28～2022/2/16 2022/1/28～2023/2/14(マテ先) 2022/12/27～2023/2/15 2024/1/26～2024/2/29 2025/1/27～2/28	

事業名稱		対象技術分野	事業内容	対象者等	助成・委託規模(上限金額)	事業期間	公募予告/公募期間	過去の公募期間、参考サイト、備考(過去採択率等)
技術 シーズ 发掘・育成 （～産学連携） 支援	フロンティア領域における技術の探索・育成 NEDO先導研究プログラム／フロンティア育成事業	エネルギー・環境分野 産業技術分野	新規分野でのイノベーションの創出に向けて、フロンティア領域※における技術を探索・育成します	産学連携体制 /民間企業のみ /大学・公的研究機関等のみ	技術の内容やTRL等に応じて、実施期間や事業規模を課題ごとに柔軟に設定	2026年1月26日～2月27日	2025/1/27～2/28	2025年度:採択11件/応募16件
	従来の発想によらない革新的な低炭素技術シーズを探索・創出 NEDO先導研究プログラム/未踏チャレンジ	産業技術分野	脱炭素社会の実現に向けて、事業開始後30年先の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげます。	産学連携体制 /大学・公的研究機関等のみ	委託(NEDO100%負担) 5百万円～2千万円程度/年	最長5年間 ※2～3年目に 中間評価	2025年 2月3日 ～4月1日	2021/4/27～2021/6/30 2022/3/28～2022/5/23 2023/2/1～2023/4/3 2024/2/1～2024/4/1
	NEDO懸賞金活用型プログラム 量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発 NEDO Challenge, Quantum Computing "Solve Social Issues!"	量子	「NEDO懸賞金活用型プログラム」は、技術課題や社会課題の解決に資する多様なシーズ・解決策をコンテスト形式による懸賞金型の研究開発方式を通じて募り、将来の社会課題解決や新産業創出につながるシーズをいち早く発掘することで、共同研究等の機会創出・シーズの実用化・事業化の促進をねらって実施するものです。本プログラムにおいて設定する懸賞金課題の一つである「量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発」では、将来利用可能になる次世代型量子コンピュータを用いた社会課題解決に取り組む予定です。	企業(団体等を含む) 大学等 研究者・研究チーム 地方公共団体 NPO等 非営利団体 個人など	設定している3領域(Society5.0、QoL、Cool Japan) それぞれにおいて、 1位：4000万円 2位：2000万円 3位：1000万円 および特別賞を予定。	—	解決案募集： 2025年4月4日 ～2025年6月16日 追加解決案募集： 2025年10月6日 ～2025年10月22日 成果物募集： 2025年4月4日 ～2026年6月30日	NEDO本公募のページ NEDO懸賞金活用型プログラム「量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発」事業に係る公募について(懸賞広告) 公募 NEDO専用サイト https://qc-challenge.nedo.go.jp/
工 業 コ シ ス テ ム 形 成	NEDO懸賞金活用型プログラム GENIAC-PRIZE	AI	経済産業省とNEDOは2024年2月、国内における生成AI基盤モデルの開発力強化を目的としたプロジェクト「GENIAC」を打ち出しました。計算資源の提供支援、データ・生成AIの利活用に向けた実証の支援、マッチングイベント等の開催やグローバルネットワーク企業との連携支援等、様々な支援活動の展開により一定の成果が創出されましたが、更なる競争力の確保のためにには、開発と利活用を一体的に進めていくことが重要です。「GENIAC-PRIZE」は、生成AIの社会実装を目的に経済産業省とNEDOが立ち上げたプロジェクトです。生成AIによる解決が望まれるテーマに即した具体的なニーズに基づく生成AIサービスを開発・実証・応募いただき、審査を経て、成果に応じた懸賞金を授与します。	日本国内の法人(企業、大学、国研等) 及び団体(官公庁、地方公共団体等) ※領域1のみ開発者に限り個人も可	懸賞金総額最大 約8億円	2025年度～2026年 度	応募期間： 2025年5月9日 ～12月	— NEDOの本公募ページ https://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100402.html 専用サイト https://geniac-prize.nedo.go.jp/
	研究開発型スタートアップ支援の中核的な役割を担う、「支援人材」を輩出 研究開発型スタートアップ支援人材育成特別講座 (SSA)	—	日本のベンチャー・エコシステムの構成員としての公益的視点、広い知見や高い専門性を持って先端の研究開発型スタートアップの発掘から成長を伴走支援できる、現場の中核的役割を担う高度専門支援人材、上記のキャリアパスを志向するイノベーション支援人材を、産・学・官・民の横串で育成します。	個人	人材育成プログラム	2025年11月～2026年3月	2025年(第2回) 9月22日 ～10月8日	2022/3/11～2022/3/31 2022/8/8～2022/9/2 2023/8/8～2023/8/30 2024/2/14～2024/3/6 2024/8/27～2024/9/13 2025/4/3～2025/4/18
	研究開発型大学発スタートアップの経営人材確保を支援 大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業(MPM)	—	VC等が経営人材を発掘・育成し、大学等の技術シーズや大学発スタートアップとのマッチングを行うための取組を支援します。	VC等事業者	委託: NEDO負担率 100% ★加速枠は別途要確認	8千万円以内/件・事業者 1.5年程度 ★加速枠は別途要確認	2025年 3月28日 ～5月7日	2023/4/18～2023/5/29 2024/3/29～2024/5/13
	スタートアップ創出型カーブアウトを支援 事業会社等が保有する革新的な技術を活用したカーブアウトによるディープテック・スタートアップ創出等促進事業【実証事業】	—	事業会社が保有する革新的な技術等を活用したカーブアウトによるディープテック・スタートアップを創出する「スタートアップ創出型カーブアウト」の加速・促進に向けて、導入に向けて支援します。	VC等事業者	委託: NEDO負担率 100% 6千万円以内/件・事業者	1.5年程度 2025年度 新規公募はありません。	2024/3/22～2024/2/22	2024年度:採択5件/応募6件